

キャラクター名
居初 恋路 (いそめ こいし)

プレイヤー名

シンドローム	バロール サラマンダー		ワークス	番長連D	カヴァー	番長連
	オプショナル		年齢	15	性別	女
覚醒	生誕	衝動	憎悪	初期侵食率	38	%
出自	名家の生まれ	経験	恋愛	邂逅	いいひと	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2		0			2	行動値	4
感覚	1		0			1	(非装備時)	5
精神	3		0			3	戦闘移動	10
社会	2	1	0			3	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		1
回避			知覚			意志	1		調達		5
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話		4
運転:			芸術:			知識:			情報: アカデミア		1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド	白兵	2r-1		0		基本2 185、ガード12、他武器装備不可。
		0				
ガード100以下						12+15+3d10 装甲6
ガード全のせ100以下						12+15+3d10+20 魔人の盾入り 装甲6

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
(チャリオットバラ)		6		-1	攻撃13 全力移動200

所持品	
Aランク:ディフェンダー	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者:チャリオットバラ	P	N		
高嶺悠理	P 憧憬	N 偏愛		
ケラス	P 幸福感	N 猜疑心		
無道 ささき	P 信頼	N 嫉妬		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
最大財産P:	16	残り財産P:	1	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
孤独の魔眼	1	4	オート	視界	効果参照	自動	-	
効果:	EA30、自分を対象に含む「範囲(選択)、範囲」の攻撃の判定が行われる直前に使用する。その攻撃の対象を「単体」に変更する。							
炎陣	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	EA105、ダメージロールを行う直前に使用する。カバーリングを行う。							
氷盾	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	EA107、ガードを行う際に使用。ガード値+ [Lv×5]							
魔人の盾	2	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	EA33、ガードを行う際に宣言する。ガード値+ [Lv×10] する。							
グラビティガード	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	EA30、ガードを行う際に宣言する。ガード値+ (Lv) Dする。							
戦術	5	6	セットアップ	視界	シーン(選択)	自動	Dロイス	
効果:	EA91、対象がこのラウンド中に行うメジャーのダイスを+Lv個する。自分以外。							
ポケットディメンジョン	★	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果:	EA35、空間を作る。知覚で見破れる。							
超人的代謝	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	EA133、すぐ傷が治る。一杯食べる。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「もう大丈夫。私が貴方をお守りします」

一人称:私(わたくし)、たまに僕 二人称:貴方、貴女、あなた
喋り方はぎこちないお嬢様口調

番長連に所属しており、たくさんの生徒を守っている。
おしとやかな性格であるが、さっそうと馬に乗り現れるその姿はまさに王子様。
本人的には女の子は男の子に守られるもの、という考えがあるため自分の能力に対しては複雑な心境。

家は代々優秀なオーヴァードを輩出する名家。
その嫡子として生まれるが、女であったために幼少期は男として育てられる。(男時は「恋路(れんじ)」と名乗っていた)
その苦悩からあまり能力の伸びもよくなく、親からもあまりいいように思われていなかった。
その頃、ある政治家の護衛任務の際に父親についていく。その時に「高嶺悠理」という少年に出会った。
彼の言葉には力があり、若いながらにして多くの人の心をつかんでいた。
そして、彼は恋路にも「言葉」をくれた。自分だけで苦しんでいた恋路にはそれは大きな勇気になった。

…そして月日が経ち、後継ぎとしてもかなり力をつけることができた恋路は、初めて「女」として生活を始めるためにアカデミアへの入学を許される。
少しでも女としてふるまえるようにお嬢様口調を使ったりしているが結構ぼろが出る。
そのアカデミアで恋路は見間違えるはずはない、「高嶺悠理」に再び会った。
しかし、出会った時は男装をしていたことやほとんど一言しか話をしていなかったため、本人には「はじめまして」と言われる。
出会った時のことを忘れられてしまったのは残念だが、男として生きていた頃のことを覚えていないのではあればむしろ好都合と考えた。